

# 3班 メコン河上流 ダム建設

後田紘一 熊谷真之介 佐藤光晴  
Truong Thien Khang 馬場洋光  
宮原史 堀見慎吾

# メコン河の概要

- 流域面積 79万5,500km<sup>2</sup>
- 主流路延長 4,620km
- 流域標高差 4,968m  
(チベット高原タングラ山脈ルプ・サ・パス地点)
- 河況係数 53(年間最大流量/年間最小流量)  
(クラチエ地点-カンボディア)
- 流域国 中国 ミャンマー ラオス タイ  
カンボディア ベトナム

# メコン河の概要

チベット山系東縁(雲南省)

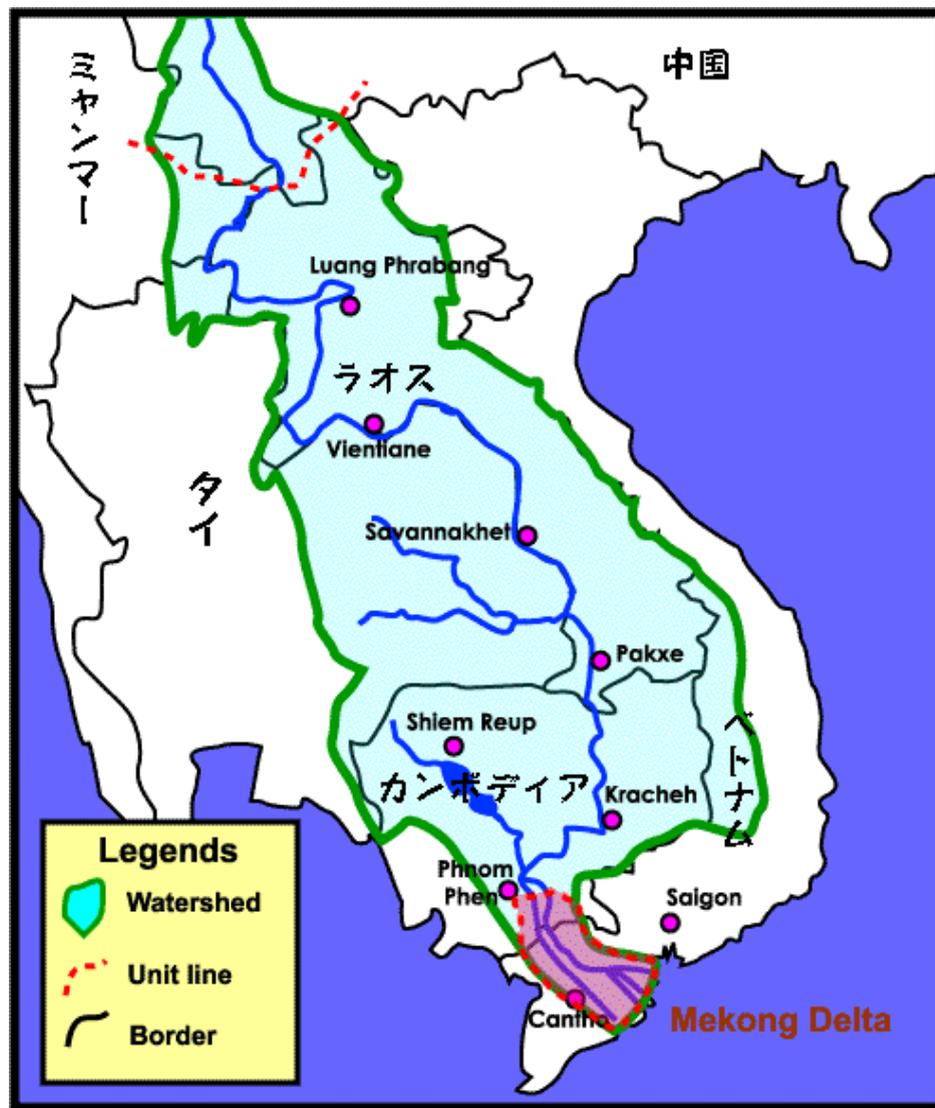
「黄金の三角地帯」

タイ・ラオス国境

「アジアのナイアガラ」

メコンデルタ

南シナ海



# メコン河の特徴

## ■ 雨季(5~9月)と乾季

主に南部で顕著。

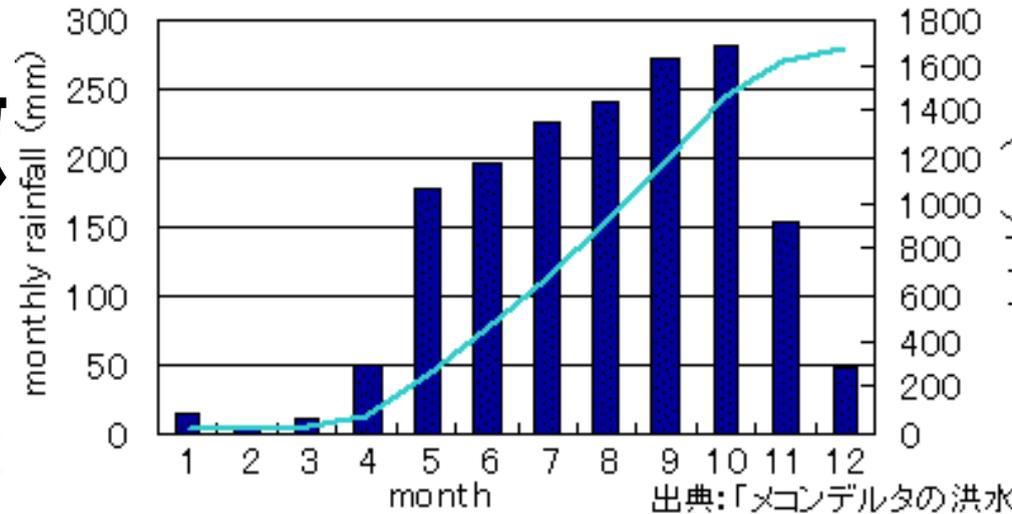
雨季に年間降水量の90%が集中。

## ■ 国際河川

上流で取水すると下流で流量不足。

下流でダムを作ると上流で洪水可能性。

上・下流の国家間紛争の危険性。



# メコン河に関わる機構

- メコン委員会

ラオス、ベトナム、カンボディア、タイ  
上流の中国が入っていない。

- 「大メコン圏構想」...ASEAN,ADB等  
流域各国の経済底上げを図る。

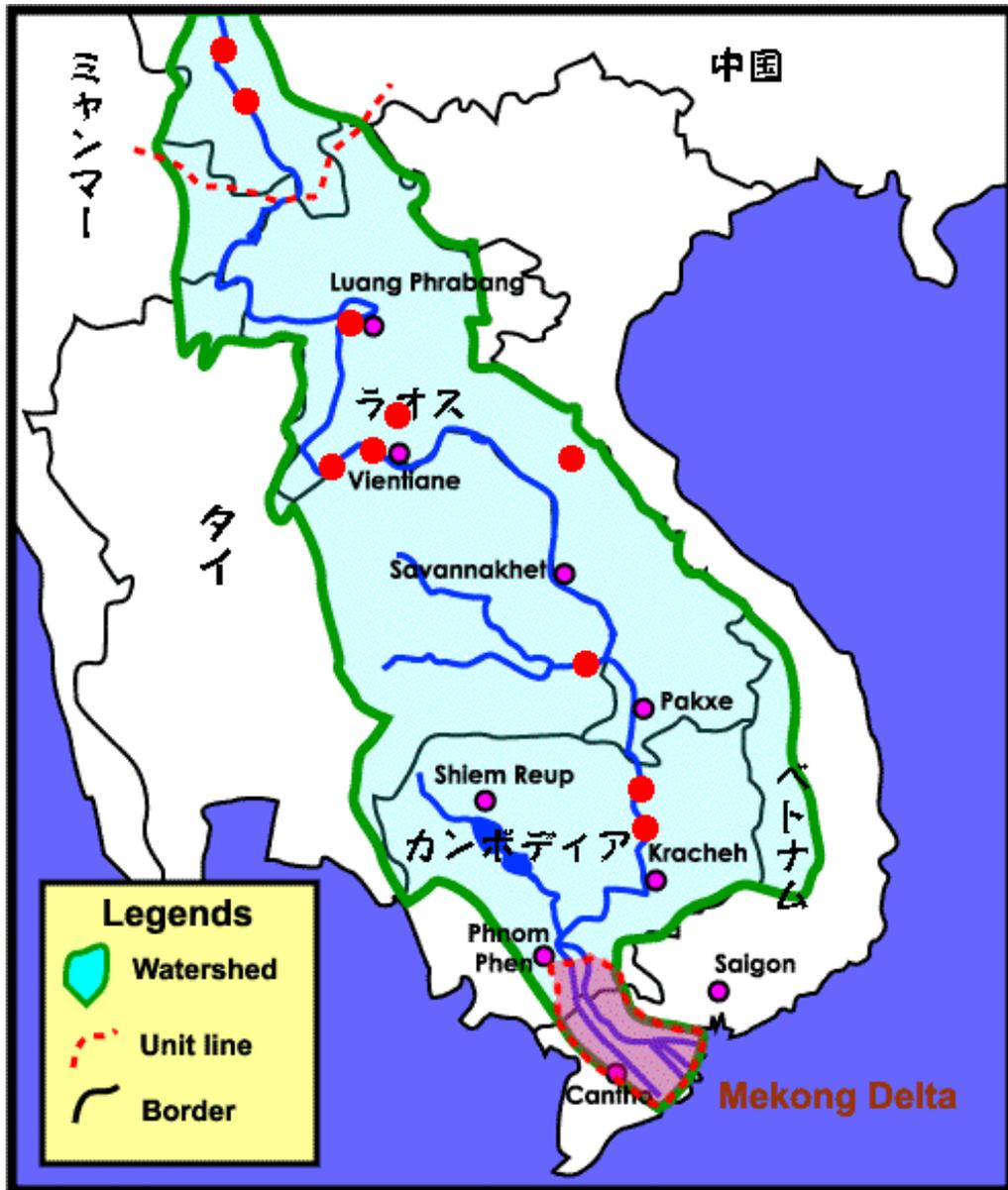
# 上流ダム開発をめぐり現状

～ 主要なダム～

雲南省内

ラオス国内(本流・支流)

カンボディア国内本流



# 上流ダム開発をめぐる現状

- 既に建設されたダムもある。
- 現在建設中のダムもある。  
ラオス国内「ナムトゥン2ダム」など  
中国・雲南省「小湾ダム」など  
主として発電目的。

# 上流ダム開発をめぐる現状

様々な問題点が指摘されている。

## ■ 周辺環境の変化

短期的な変化ではわからない。

事後の努力が試される。(ex. 広瀬川の浄化)

## ■ 計画がずさん

流量などのデータは実際少ない。

適切な環境アセスメントの実施。

移転住民に対する適切な補償。

# ダムに期待される機能

## ■ 流量調節

森林伐採等による予測不能な洪水頻発。

洪水「防止」は実質不可能 緩和

人的被害の防止。

乾季の流量確保で舟運の活発化。

# ダムに期待される機能

## ■ 農業用水

下流諸国は農業が主要産業。

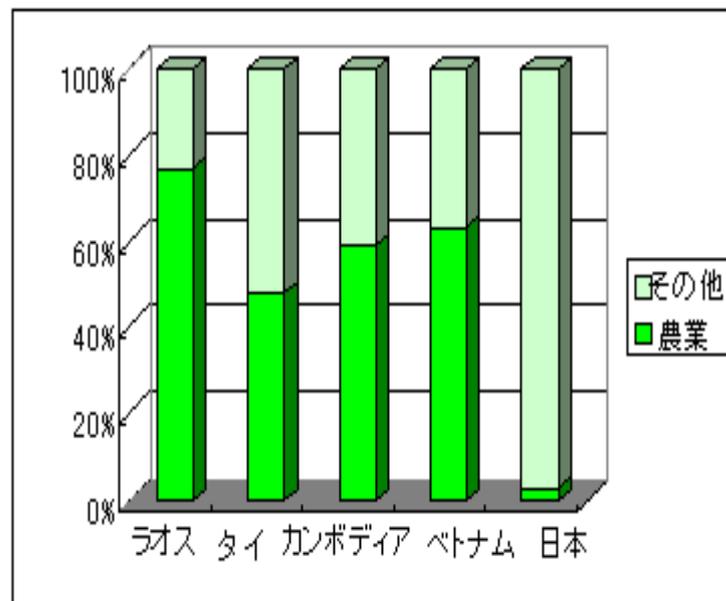
雨季の農業被害防止。

乾季の流量・灌漑用水の確保。

水路整備で「三期作」も可能。

効率的な農業で生産性向上。

流域各国における農業従事者の割合



# ダムに期待される機能

## ■ 水力発電

深刻な電力不足

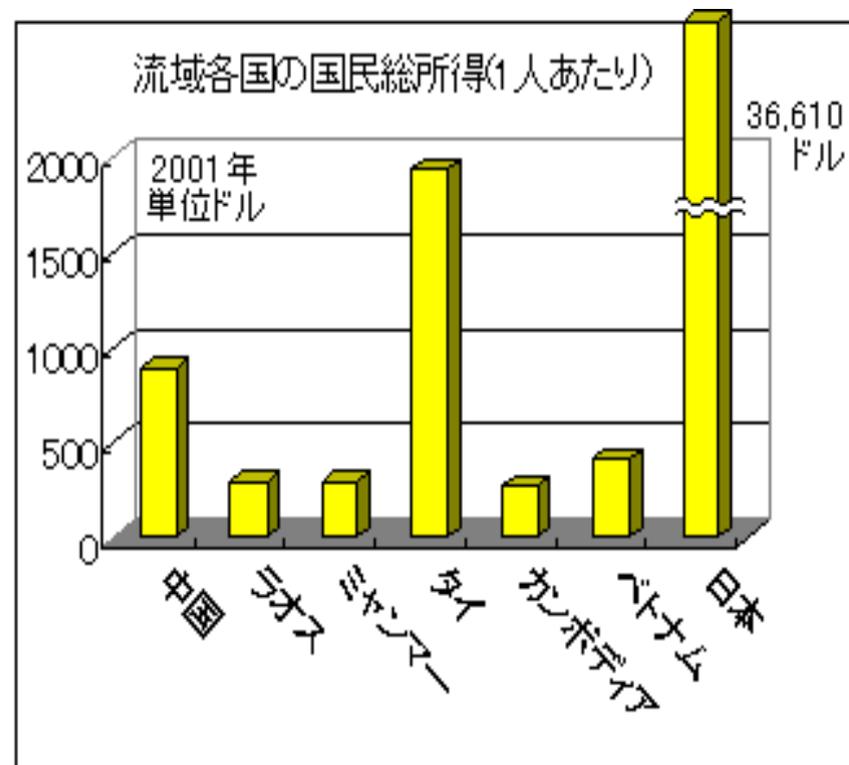
インドシナ半島の経済発展

ラオスの主力輸出品

「東西回廊」計画

中国「西電東送」計画

クリーンエネルギー



# 特別ゲスト

- ホーチミン市としては？
- 洪水については？

# まとめ

ダム開発にあたって...

- 適切な環境影響評価。
- 建設的な見直し(小型化など)。
- 流域全体で流量を監視する機構。
- 国家間の利害調整と、全体的な援助。
- 管理・運用を行い、発展に寄与。

*Special Thanks to*

**ガスト木町通り店**



Fin.